

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 2024年 2月 20日

公表: 2024年 2月 29日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス じゃんぶ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	・広いスペースで療育することが出来ている。	利用人数・状況により検討します。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	・部屋の区切りやトイレの導線などフラットになっている。 ・トイレは手すりが設置されている。	状況に応じて検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	・毎日の消毒、清掃を行っている。活動空間は障害物もなく安全に気を付けている。 ・常に清潔かつ快適な空間を心掛け掃除は欠かさずに行う。	感染予防に努めながら、引き続き消毒等の徹底を継続していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・都度、子どもへの関り方や療育内容、進め方等について話し合う場を設けている。	打合せ時、利用児童の様子などについて細かく打合せを行っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	・年1回の評価を基に、保護者様の声を普段の療育に反映させている。	今回の結果を改善に活かしていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・ホームページでの公開と保護者様への配付を行っている。	今回の結果を改善に活かしていくとともに、全利用者に結果を配付します。またホームページで公開します。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	14%	86%		外部評価は実施していませんが今後検討します。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	・打ち合わせでの研修などで行うとともに、各種研修会への参加もしている。	外部研修等についても積極的に参加できる体制を作っています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		全職員の意見を踏まえて作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	・具体的な目標を設定し、日々の療育に生かせるようにしている。	全職員の意見を踏まえて作成しています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	・毎月活動計画を立てて取り組んでいる。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・複数人で行っている。 ・職員全体で行っている。	月ごとの支援目標に沿って活動プログラムを立案しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	季節の行事に関わることや様々な活動を取り入れている。	月ごとの支援目標に沿って活動プログラムを立案しています。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%		個別、集団支援を組み合わせながら個々の支援内容に沿った支援を行っています。
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・朝の打合せで行っている。 ・毎朝必ず実施し、情報の共有を行う。	毎朝必ず行っています。	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	・終了後に限らず、都度振り返りをしたり、翌日の打ち合わせ時に行っている。 ・記録を書く際、不安な点等はうやむやにせず必ず相談してから記入する。 ・打ち合わせではないが、翌日毎朝必ず行っている。 ・支援終了後ではないが、翌日毎朝必ず行っている。また、すぐに話し合える環境である。	急を要するときは実施していますが、基本的には翌朝に行っています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・毎日行っている。 ・記録がないと記憶だけで自分の支援の振り返りをしなければならぬため必要。	写真や動画などを基に検証しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・している。 ・月曜日に実施している。	全職員の意見を取り入れています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・複数人で参加するようにしている。	児童発達支援管理責任者の他、1名は必ず参加している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	・連携している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%		体調不良をすぐに察知できるよう、てんかん症状、食物アレルギーのある児童については個別で緊急時対応マニュアルを作成しています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	100%	0%		体調不良をすぐに察知できるよう、てんかん症状、食物アレルギーのある児童については個別で緊急時対応マニュアルを作成しています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		保護者の意向を踏まえながら、幼稚園等と連携を図っています。必要に応じて情報提供書を提出しています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		保護者の意向を踏まえながら、幼稚園等と連携を図っています。必要に応じて情報提供書を提出しています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	71%	29%	・地域の施設などを利用した際にふれ合う機会がある。 ・県児童館など訪問することがある。 ・公園等へ出向いた際、同年代の子供と関わることもある。	感染症等の状況を踏まえ、積極的な交流は控えています。公共施設等を通し触れ合う機会を設けています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	・連絡帳や送迎時などに行っている。 ・連絡ノート、送迎時等保護者との会話を大切に相談・助言を受け入れやすい関係を心掛けている。	相談しやすい環境づくりに気を配っています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	・保護者様からの相談の際には提案している。	保護者に寄り添いながら問題解決に繋がるように努めています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時に行っている。	

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・面談の他に都度相談に応じている。	保護者に寄り添いながら問題解決に繋がるように努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	71%	29%	・各家庭の要望に配慮し適宜対応している。 ・必要に応じて場を設定する。 ・必要に応じて母同士の話し合いをセッティングしている。	保護者への負担を避けるため保護者会の結成は行っていません。必要に応じて保護者同士の連携が図れるように努めています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・相談、SOS等見逃さず、保護者の気持ちに寄り添うことを大切にしている。	相談しやすい環境づくりに気を配っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月発行し、活動の予定や活動中の様子などを伝えている。 ・各月の予定表など配付している。	日々の療育内容等をわかりやすく伝えられるように努めています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	・来客時には必ず子どもの名前がついている物は目につかないようにしている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	14%	86%	・事業所の特性を考慮し対応している。	感染症等の状況を踏まえ、今年度は控えています。今後も状況を確認しながら検討していきます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	・防犯マニュアル等を策定しており、訓練も実施している。	避難訓練の際、事前にマニュアルの読み合わせを行ったうえで実施しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	・避難訓練を年3回実施している。 ・避難訓練を行い予期せぬことにも臨機応変な対応をとれるようにしている。	避難訓練の際、事前にマニュアルの読み合わせを行ったうえで実施しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	・それぞれのお子様の服薬などについて聞き取りをしている。 ・職員間での情報の共有の徹底	保護者、事業所の他、幼稚園等と相互の意確認できるように工夫しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	・食物アレルギーについて保護者様から用紙にて回答いただいている。 ・情報の共有のため対応表を作成している。	職員相互で確認できるように工夫しています。またマニュアルを作成し、万が一の時に備えています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	・ヒヤリハットの記入用紙を準備している。 ・小さなことが(危険なこと等)いつしか重大な事故につながるよう対策している。	事業所内研修などに用いながら再発防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	・虐待防止研修を年1回行っている。 ・排泄時、オムツ交換時には体のキズやアザ等のチェックも欠かさず行う。	虐待防止研修のほか、業務打合せの中で報道も含め内容を共有の上、日々意識を高めるように努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	・契約時に行っている。	現在まで実施例はありません。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。